

こんなときどうする？困ったときのご提案マニュアル



「土が粘土質で困っています。どうすれば柔らかくなりますか？」 (土づくり・団粒化促進)

土づくりの基本は、やはり団粒構造です。特に粘土質では、団粒構造が崩れたとき、水はけが悪く、根腐れ、土壤病害のリスクはとて高くなります。下記の方程式で解決しましょう！

有機物＋微生物＝団粒構造

(そんなときの実践アドバイス！) 10aあたり
・パーク堆肥(または、植物性堆肥) 3～5トン

「天候不良や着果負担で樹勢低下(芯止まり)しそうです。」

(樹勢回復)

長期栽培の果菜類では、微生物が減り、土壤団粒が壊れ、発根が悪くなることによって、肥料の吸収が悪くなります。そうすると、いくら肥料をやっても、植物はなかなか回復してくれません。まず、地力をつけるため、有機物と菌力アップで微生物相を改善しましょう。再度発根して勢いが変わります。

(そんなときの実践アドバイス！) 10aあたり

「良い堆肥がありません。どうすればよいですか？」 (未熟有機物対策)

よい堆肥を見つけるのは、なかなか難しいものです。菌力アップで、良い堆肥に変えることができます。

(そんなときの実践アドバイス！) 堆肥10tあたり
・菌力アップ 2リットル(300倍希釈して堆肥に散)

「肥料過多で徒長してしまいました。」 (生殖生長促進)

徒長を抑制し、生殖生長を促進する資材があります。利用してみてください。(味や品質も良くなります。)

(そんなときの実践アドバイス！) 10aあたり
・コーソゴールド 灌水：3kg 葉面散布500倍

「センチュウが住みにくい土づくり、良い案はないですか？」 (センチュウ対策)

微生物豊富な土づくりをすると、センチュウの天敵が増え、植物にとって環境が良くなります。センチュウの体を溶かすキチナーゼ酵素を持った放線菌を増やすため、菌力アップがお勧めです。また、放線菌が好きなのに殻資材もお勧めです。

(そんなときの実践アドバイス！) 10aあたり
・かにキング～ 200kg(元肥として)

「青枯病が出ました。どうしたらよいですか？」 (細菌性病害対策)

青枯病は、水で感染拡大していきます。早急に土壤の微生物相を改善することです。手遅れになる前に早期発見！

(そんなときの実践アドバイス！) 10aあたり
・菌力アップ 10リットル
・マジカル 2リットル(または純正木酢液2リット)

「栽培中にネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウが出た。どうしよう？」 (センチュウ対策)

栽培中、センチュウ被害が出て諦めるのはまだ早いです。早めに対処すれば、微生物相を急速に改善して、十分に植物の回復力を引き出すことができます。

(そんなときの実践アドバイス！) 10aあたり
・菌力アップ 10リットル
・糖力アップ 5リットル

「土壤消毒しているのに、土壤病害(萎黄病、立枯病など)で困っています。」 (糸状菌病害対策)

土壤消毒をするということは、病原菌と同時に、良い微生物もすべて殺してしまうこととなります。土壤は病原菌に対して無防備な状態で放置されると、大変危険です。土壤消毒と、微生物相の回復は、必ずセットで行いましょう。

(そんなときの実践アドバイス！) 10aあたり
・菌力アップ 10リットル
土壤消毒後(ガス抜き後)すみやかに菌力アップ(水量は1トン程度)を灌水します。栽培期間中に病害が出たとき

上記内容は、対策としてのご提案です。効果を保証するものではありません。詳しくはメールまたはお電話で、お問い合わせください。

内容、商品についてのお問い合わせは

フリーダイヤル

0120-8312-41

〒851-3302 長崎県西海市西彼町中山郷1968-2

株式会社大地のいのち

代表取締役 生田智昭

Email info@sunbiotic.com

農業革命！農業資材のサンビオティック

sunbiotic